

# 人にまかせられないのは 無茶できない自分を知っているからかも



漫画家という本職以外にも、コメンテーターやクイズ番組での回答者としての顔を持つ、やくみつるさん。「漫画を描き始めたのは中学に入ってからです。教科書やノートの端に、よく先生や友達の似顔絵を描いていましたね。本格的に描き出したのは、大学に入学して漫画研究会に入ってからです。卒業してからは4年ほどサラリーマン生活もしました。漫画家との二足のわらじを履いていたんです」。

現在は、漫画やエッセイなど合わせて20本の連載を抱え、テレビやラジオにも多数出演。さぞや時間に追われる生活なのでは？「私は事務所に所属していないから、スケジュール管理などはすべ

て自分でしています。気を付けているのはダブルブッキングだけ」。マルチに活躍するやくさんが、自身でスケジュールを管理していることにも驚きですが、さらに、パソコンやスマートフォンを使っていないと聞いてビックリ。「嫌いだからとかではないんですが、やってみようかと思ったときには、なんか、時すでに遅し」、完全に乗り遅れたなつて（笑）。だからやらない（笑）。実際、携帯電話とファクスがあれば困らないしね。「依頼された仕事はありがたいからなるべく断ったりはしない」と漫画の執筆、テレビ出演などの合間には、全国各地に出かけてツアーイベントへの出演も。

そんな多忙ゆえのストレスはどうやって解消しているのか聞いてみると、「ストレスって強く感じたことはあまりないです。アナログ生活だからネットなどの余計な話は耳に入ってこないし、目にもしない。それがいいのかもしれないです。無茶もしないと決めています。それでも年に何回かは逃亡したくなりますよ（笑）。実際、そんな時は旅に出ます」。最近の